

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
富士山と環境		(選択)	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
志茂 聡 他	C306	sshimo	水曜日 12:10-13:00		
授業の目的・概要	この授業は、富士山とそれを取りまく環境に対する関心を深め、実地に基づく調査・研究の方法や具体的な成果を吸収することを通じて環境科学の基礎を学ぶとともに、世界文化遺産としての富士山についての理解を深めることを目的とする。 この授業では、富士山周辺の環境、地球環境と人間生活のかかわり、世界文化遺産としての富士山、Sustainable Development Goals (SDG's: 持続可能な開発目標) について、それぞれの分野で研究している先生方に、わかりやすく講義する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	教科書を用いないので、毎回の講義では必ずノートを取りながら傾聴し、疑問点については講義の終わりなどに積極的に質問すること。また、毎回出される課題は必ず提出すること。				
教科書	使用しない。				
参考書	特に指定しない。				
外部教材	SDGAcademyX: Free online courses from SDG Academy. Glen M Fox et al, edX				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	自然観察のさまざまな方法について理解し、説明できる。			HSU(2)	
②	環境問題の現状と課題について理解し、説明できる。			HSU(1), HSU(2)	
③	環境保全のために必要な対策について理解し、説明できる。			HSU(1), HSU(2)	
④	富士山や富士五湖の成り立ちと特色を理解し、説明できる。			HSU(2)	
⑤	火山の噴火と防災について正しい知識を身につけ、説明できる。			HSU(3), HSU(4)	
⑥	Sustainable Development Goals (SDG's: 持続可能な開発目標) について理解し、説明できる			HSU(1), HSU(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	この授業の概要。富士山と環境を学ぶ意義と SDG's(持続可能な開発目標)について学習する。 9月8日(木) [志茂聡]	講義	配布資料の課題に取り組む	4	
2	人間と環境、環境問題の歴史、環境科学について学習する。 9月15日(木) [池口仁]	講義	配布資料の課題に取り組む	4	
3	国立公園、世界遺産、富士山の自然資源の管理について学習する。 9月22日(木) [三ツ井聡美]	講義	配布資料の課題に取り組む	4	
4	地球環境変動、大気循環、水循環、地球温暖化について学習する 9月29日(木) [山本真也]	講義	配布資料の課題に取り組む	4	
5	富士五湖の成り立ちや富士山の水環境について学習する。 10月6日(木) [山本真也]	講義	配布資料の課題に取り組む	4	
6	環境保全、衛星画像、リモートセンシングについて学習する。 10月13日(木) [杉田幹夫]	講義	配布資料の課題に取り組む	4	
7	小型哺乳類の生態、富士山の小型哺乳類について学習する。 10月20日(木) [高田隼人]	講義	配布資料の課題に取り組む	4	
8	土曜日を利用して山梨県富士山科学研究所の環境教育プログラムに参加し、自然観察の方法や富士山を取り巻く自然と環境保全について実地に学ぶ。 10月15日(土) [坂本宏史、志茂聡]	フィールドワーク	配布資料の課題に取り組む	4	
9					
10	富士山の噴火の歴史や火山災害について学習する。 10月27日(木) [亀谷伸子]	講義	教科書 P. 378-381 配布資料で予習・復習	4	
11	富士山を取り巻く自然災害とその対応について学習する 11月10日(木) [久保智弘]	講義	教科書 P. 384 配布資料で予習・復習	4	
12	植物群落、森林、攪乱、遷移、外来生物について学習する。 11月17日(木) [安田泰輔]	講義	教科書 P. 384-389 配布資料で予習・復習	4	
13	大型草食獣の生態、富士山の大型草食獣について学習する。 11月24日(木) [中村圭太]	講義	教科書 P. 390-396 配布資料で予習・復習	4	

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

14	民俗学、生態人類学、聞き取り調査などについて学習する。 12月1日(木) [小笠原輝]	講義	教科書 P. 398-404 配布資料で予習・復習	4				
15	これまでの講義を振り返り、将来の仕事と関連づける。 12月8日(木) [志茂聡]	講義	教科書 P. 21-36 配布資料で予習・復習	4				
試	期末試験は行わない。							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		100	0	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	0	10	
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	0	20	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法			
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回の授業内におこなう小テストで評価する。主に授業内で配布する資料中のキーワードやスライド内から出題する。			小テストを採点后、Teams を利用して返却		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
備 考								
他 担 当 教 員	池口仁、三ツ井聡美、山本真也、杉田幹夫、高田隼人、坂本宏史、亀谷伸子、久保智弘、安田泰輔、小笠原輝							
教員の実務経験								
実践的授業の内容	この講義は、山梨県富士山科学研究所の先生方を中心に各分野の専門研究者のご協力によって成り立っている。普段は学ぶ機会がない分野の講義も多いため、未知の分野への旺盛な知的好奇心を忘れずに受講すること。授業中はノートを取りながら傾聴し、授業後に Microsoft Teams を使って小テスト(課題)を毎回提出する。 10月22日(土曜日)に実施する学外実習には必ず参加すること。							

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

そ の 他	対面で行う授業中となるが、資料提示や質問・コメントの受付に一部オンライン (Teams) を利用する 場合がある。また、授業内に予定している小テストは、Teams を利用するので、登校の際はインストール された PC または携帯を持参すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって、シラバスが変更される可能性がある。
-------	--